



# 薬剤師

管理監督者   
**担当課長～**  
 25年目以降  
 (40代後半～)

グループリーダー   
**主任主査級**  
 (上席薬剤師 等)  
 20～25年目程度  
 (40代中盤～)

サブリーダー   
**主査級**  
 (主査薬剤師 等)  
 15～20年目程度  
 (30代後半～)

中堅   
**主任級**  
 (主任薬剤師 等)  
 10～15年目程度  
 (30代中盤～)

若手   
**技師級**  
 (技師、薬剤師)  
 2～10年目程度  
 (20～30代前半)

新人   
**新採用**  
 1年目

主な職名：薬剤師、専門研究員 等

主な配置先：環境生活部環境保全課・資源循環推進課・県民くらしの安全課、保健福祉部健康国保課、広域振興局保健福祉環境部（保健福祉環境センター）、環境保健研究センター 等

県職員としての土台づくり。  
 知識経験をしっかり吸収。

様々な分野を経験。実務  
 の中核として活躍。

視野を広げながら担当業務  
 を推進。後輩もフォロー。

幅広い視野で業務を推進。  
 チームの要として活躍。

チームを引っ張り、県  
 の政策・施策を立案。

豊富な知識・経験で  
 組織をマネジメント。

【新採用～概ね5年目】

- 薬事衛生、感染症対策、公害、廃棄物、衛生（食品・生活）等の業務を経験し、業務のベースとなる基礎的知識を習得

**若手職員の配置**  
 実務的専門性向上と  
 適性把握のため、採用  
 から主任昇任までの間  
 に、本庁・振興局・試  
 験研究機関等の出先機  
 関をバランスよく経験  
 できるよう配置。

【採用6年目～主任】

- [本庁]
  - 予算や政策の企画等にも関与し、より高度な業務を経験する中で、行政職員としての幅広い分野の知識を習得
- [出先機関]
  - 地域における施策検討にも関与し、より高度な業務を経験
  - 主任級の職員は、環境保健研究センターにおける研究部門の業務経験などにより、幅広い分野の知識を習得

【共通】

- 部下職員の育成、担当内業務のマネジメントを経験し、リーダーとしての資質を習得
- [政策・企画系]
  - 施策等の立案能力や判断能力、調整能力を習得
- [事業・研究系]
  - 周辺地域の課題分析と解決策の立案を通じ、自己の有する専門性を高度化

- 管理監督職として所属職員や事務事業をマネジメントする能力
- これまでに培ってきた専門分野の知識・経験等を踏まえた高度な能力（説明・交渉・調整力、判断力、指導力、分析力）の発揮
- 人材育成能力

新採用職員等研修（各分野座学・現地研修）

分野別初任者研修（薬務、公害、廃棄物処理、食品衛生 等）

分野別実務・実地・伝達研修（薬務、公害、廃棄物処理、食品衛生 等）

人材育成研修（技術職キャリア研修、会計事務研修、議会事務研修、女性活躍 等）

環境生活部・マイスター制度による若手職員に対する業務・キャリア形成等支援

【外部】派遣研修（国立保健医療科学院、環境省環境調査研修所、厚生労働省 等）

**育成方針**：職場を離れて受講する研修（Off-JT）に加え、日常の仕事を通じた上司・先輩からの指導（OJT）や自主的な学習・研鑽（自己啓発）を組み合わせる育成

注1：各職位の目安（○年目）は大卒程度を想定したものです。 注2：研修のうち太い枠線のあるもの（着色されているもの）は必修研修であることを表しています。

キャリア

必要な知識・能力・役割

職員育成（主な研修）